

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 20日

事業所名:あんじゅとよさと

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	4	3	年齢差、人数が増えてきて1・2階とグループに分けてプログラムを月2回程度している。	人数も増えてきて、感染症対策等を含めパーティションで静・動の空間を分けている。活動内容等工夫していく。
	2 職員の配置数は適切であるか	3	3	2	マンツーマン体制が必要と思われるときは、対応が出来るように配置している。	個別対応が必要な子どもが多くなってきた。多様性を保障する為にも関わる職員をストックすることが必要
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	4	1	玄関スロープ・エレベーター、トイレに下肢障がい手すりバーを設置	下肢障がいの児童のトイレ使用、車いす使用でもあり安全に、個々の状態、様子に応じて今後も工夫していく。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	2		日々の振り返り、活動前の確認等に時間をかけて共有している	スタッフ会議、活動前後のミーティングでスタッフ間で共有している、全員が周知できるようにしていく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			利用日等の確認、評価表の結果についてスタッフ間で共有している	会議などで共有、内容などについてのご意見等はスタッフ間で周知していき改善点を話し合い周知していく
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	4		ホームページに開示している	評価結果についてはスタッフ間で共有していく。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	4		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	4		社内研修は定期的にズームで行っている。	放課後等デイに関わる研修、外部の研修の機会を設けて資質向上につなげていく。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		保護者面談での確認、担当スタッフ等での見立て、それぞれの意見を取り入れて作成している	今後も継続して、保護者面談でのニーズを確認しながら、複数のスタッフの見立ても組み入れていく。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	5		資料を参照している。	発達検査などの報告を聞かせてもらえるところはそれを参考にしているが情報が得られず試行錯誤している。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	2		担当制を取っている、担当を変更したり、グループ分け等スタッフ間で連携しながら行っている	今後も継続しより良いプログラム作成をスタッフ間で持ち寄って目指していく。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			季節感を感じてもらふ、静と動をメリハリ、多様に工夫しながら取り組んでいる。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	2		長時間の時は休憩、クールダウンできる時間、内容を作り、戸外での活動を取り入れている。	今後も継続していく
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		グループ分け年齢、特性を加味して場所を分けている月に2回程実施。	環境、部屋数が少ない個別活動はしにくい、特性、年齢等、活動を検討しながら取り組んでいく。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			活動前の確認、打ち合わせは時間を設けてしっかりしている	今後も継続して取り組む
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	1		情報共有を大切にしてい取り組んでいる	働き方見直す中で、振り返りの時間の短縮、作成した記録を閲覧して情報共有できるように検討を行う。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			毎日の記録、振り返りはできている	意見交換、情報共有はできているが、支援についての検証に今後つながれるようにしていく。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	3		半年のモニタリングの実施している。保護者と関係機関と連携を図り計画に反映している	今後も継続して取り組む
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	2	6		活動・制作等に様々な取り組みを入れている	ガイドラインを確認、理解をして活動に生かせるように準備をしていく。

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	2		担当する現場スタッフと共に参加することを増やしている。	管理者が主に参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	1	1	地域授業参観に行く。夏休み・年度初めに挨拶回りに行く。下校時間、年間計画等資料を頂いている。	今後もより充実した連携・情報共有が出来るように取り組む。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。	4	3	1	必要に応じて保護者様の了解を得て通院同席をしている。	アセスメント・情報提供等で確認している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1	3	説明会にてパンフレット等、質疑応答などを年1回設けている	個人情報などの関係で難しいが、保護者様のご確認を頂きながら必要な情報共有を務めたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		4	4		前例がない中で、今後の課題。中学生になる子どもが増えてきて今後について考えていく必要がある。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	4		年に1回事業所周りをする中で情報共有をしている。	今後も継続して機会を増やしていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	6	機会としては設定していない。	コロナ禍の中でもあり、不要という保護者様のご意見もあり、今後については検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	4	1	市との連絡協議会に参加している。	関係機関の会議、連携の機会があれば積極的に参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1		送迎時に伝えたり、連絡帳にて共通理解を持てるように努めている。	今後も継続しながら、関係性を深めていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		5	3	機会が十分でない。	実施できるように準備、知識等を習得していきたい。今後の課題
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	2		契約時等に丁寧に説明している	契約などに必要な書類など全スタッフも閲覧できるように整える
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	4		連絡帳、送迎時等での相談の対応、見学・面談受ける中で対応している。	今後もさらに充実できるように取り組む
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	7		コロナ禍でできていない。落ち着いたら機会を設けて検討していこうと思う。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	3		真摯に受け止め、対応、対策、改善策等力を入れている。	苦情などのシステム
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			3か月に1回、会報を発行、イベント行事等活動の様子等を載せて発信している。保護者、関係機関との連携している。	今後も継続して取り組む。
	35	個人情報に十分注意しているか	7	1		SNSの発信も開始、保護者様に確認を取りつつ掲載する際は最新の配慮をしている	書類等、持ち出し禁止も含め、今後も注意して取り扱う
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	2		子ども達、保護者の意思確認しながら情報共有に配慮をしている	今後も継続していく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	4	2	地域の文化祭に作品を出展、見学に行く。	少しずつ関係性を築いていきたい。

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	6			マニュアルはあるが警報時(自然災害等)の曖昧な部分もあり状況判断、周知には事欠ける部分もあり検討、見直しが必要
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			年2回実施(避難訓練)	今後様々な状況を想定、設定して継続して取り組んでいく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			内部研修を実施参加している	今後も継続して取り組んでいく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	4	1	場面、状況によって急な出来事等はその日のうちに保護者へ報告、またミーティング等で確認、問題提議しスタッフ全員で共有している	今後についても十分に検証を行い、必要な事は記載していく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2	1	利用開始前に必ず確認している。	指示書はないが、保護者、相談員から詳しい状況を聞いている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	1		その都度、書面に記入。日々のミーティングで、確認し情報共有している。	改善に力を入れ、今後も継続していく